

令和4年度 大阪府公立高等学校バレーボール大会 大会運営について

大阪府公立高校バレーボール大会実行委員会

運営方法は今大会に限ります。

1. 大会運営方針 ☆高体連同様、生徒の密集を極力避けるため

(1) 大会1, 2日目の開始式はしない。会場校は、当日、書面で各チームに会場使用の注意を指示する。最終日は、開始式を行う。

(2) 大会1日目 3チームゾーン、4チームゾーン共にリーグ戦をおこなう

試合順及び試合運営については新人戦一次（秋の部別）と同じ形式で実施する。

（ハンドブック7ページ参照）

※いずれの場合も1位・2位通過のチームが翌日の中央トーナメントへ進出

第1試合は、8：30開場 9：00プロトコール

練習は、試合前の2チームのみ

大会2日目

第1試合は、8：30開場 9：00プロトコール

練習は、試合前の2チームのみ

第1試合の審判を、第2試合のチームとする。

(4) 全ての試合間を、15分とする。（換気～合同練習）

ただし、1日目4チームリーグの場合、第3試合と第4試合の間に、休憩時間30分をとり、その後第4試合の合同練習に入る。

2. 感染防止対策について ☆高体連バレーボール専門部HPの「感染防止ガイドライン」を確認

(1) 大会参加者について（以下のメンバー以外は、フロアへの入場禁止）

JVA一覧にある選手（3年生も可）、生徒マネージャー、スタッフ3名（監督・コーチ・マネージャー）

※コーチは当該校教職員かコーチ登録された人。

※大会参加確認書①（高体連バレーボール専門部HPよりダウンロード）を提出すること。

(2) 観客について

(1)の大会参加者を除き、各チーム最大15人（会場校で制限がある場合はそれを優先）のチーム関係者の入場を許可。大会参加確認書②（高体連バレーボール専門部HPよりダウンロード）を提出すること。

(3) 審判は電子ホイッスルで行うこと。また、応援の発声は控えること。

3. 感染者（PCR検査陽性）が出で休校になった場合の措置について

当該チームは棄権となる。試合途中で判明した場合、没収試合となる。休校が判明したら、できるだけ早く会場校と各地区責任者に連絡を行うこと。

※会場校が休校になった場合

①事前に判明していた場合

- ・会場校は棄権、試合会場は別の学校へ変更する。この場合、午後の試合となる。

②試合途中で判明した場合

- ・1日目の最終試合で、会場校でないチーム同士が試合途中であった場合、その試合は最後まで行い勝敗をつけること。
- ・2日目の最終試合の試合途中である場合、その試合は最後まで行い勝敗をつけること。

4. その他

- ・この大会ではJVA加入選手一覧の提出は必要ありません。本部へは大会参加確認書①、②（高体連バレーボール専門部HPよりダウンロード）を提出してください。
- ・感染拡大状況によって、大会の実施方法を変更したり、大会を中止したりすることがあります。
- ・最終日の会場は、決定後に高体連HPにて掲載します。

5. 大会事務局

＜大会実行委員長＞	府立登美丘高校	益永 鉄平
＜各地区責任者＞	東地区	榎木 貢（枚方高校）
	西地区	藤永 祐嗣（和泉高校）
	南地区	池田 輝政（狭山高校）
	北地区	西岡 亮太（西野田工科高校）